
エゴイズム

赤神 裕

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エゴイズム

【Nコード】

N4681S

【作者名】

赤神 裕

【あらすじ】

「人類はどの生物よりも優秀である」そう言った人がいた。しかし私はそうは思わない。なぜなら……。

(前書き)

エゴイズム

この世界で生物と呼ばれる“生きている物体”の最も原点に近いものは何だったのだろうか。さまざまな鳥や虫、人間に魚。ほかにも色々あげられる。「人間は初めサルだった」という説。これは本当なのだろうか？ あくまでも人が考えた上での説のため、本当のことは誰にもわからない。もしかするとアメーバ状のものだったのかもしれない。

人間は生まれる時にさまざまな形になるという。初めは魚で次に鳥のようになり。そして形作られていき人間としての形になる。「人間は生物の全てを取りこんでいる」と考える学者も少なくはない。だからと言って優秀だということとはまた別の何かがあると私は思う。

そんな生物の中の人間を取り上げて、ここに私なりの考えを記そうと思う。

生物。それは命を持ち奇跡的にこの地球上に生まれてきた“生きている物体”である。一言で生物と言えども、その数は数万以上もの種類が存在するわけだがその中でも人類に関して見ていこうと思う。

「人類はどの生物よりも優秀である」と言つた人がいた。果たして本当にそうだろうか？ 私はそうは思わない。確かに人類はさまざまな道具を作り使うことで知能が発達し、さまざまな応用がきくようになり、技術もここまで進歩した。獲物をしとめるにはどうしたら良いのか、これを作ればもつと便利になるのではないか。といったことは人類が考え、他の生物にはできなかったことをやってしまったのだから優秀である。が、その一方で犠牲にしたものも多い。ほかの生物から見れば我々人類は邪魔者なのかもしれない。森林伐採で森の生物の自由を奪い、機械の開発で元いた生物を根絶させてしまつたりと人類のしてきたことは決して喜ばれるものではないと思う。そして我々が便利に便利にと流されていくその流れこそエゴイズムの塊なのではないかとさえ思つてしまう。

自分のことしか考えず、他者に迷惑をかけてしまう。それは日常的に許されるものではないが、人類という幅だけでなく、その他の生物までにも幅を広げるとそれが見え隠れしている部分がある。

こういつたことを見ると、とある人の名言で「人類は優秀だが最も軽蔑されるべき生物である」の方が正しいように思えてくるのだ。

(後書き)

どうも。新しい年が始まって春が来ましたねえ。今この小説と
いいますか、評論文を書いているのは4月なわけで、外では早くも
ミツバチやチヨウチヨたちが活動を開始しています。私も負けてい
られませんか(笑)春と聞くと「出会いの春」とか「青春」などと
いう言葉をよく耳にします。この使い方はあながち間違っではないな
いと思います。私の周りでは彼女、もしくは彼氏ができるのが大抵
この時期ですね。学校では新一年生が入学してくるわけで、更に恋
人探しモードになるといいますか、男子は“可愛い子さがし”女子
は“カッコイイ人さがし”をしていたりします。そうそう、更に積
極的な方に関しては何とこのでしょう。恋の相談(?)を受ける
ことも多いですね。私は恋愛小説も書いているため、「恋愛のこと
について詳しいだろう」という安易な考えで相談されに来る方が多
いです。正直言うと私は恋愛経験が一切ありません。なので恋愛小
説を書いているといっても想像上でしかないのです。まあ、それで
成功したという方も少なくはありません。わざわざお礼を述べに来
る方もいらしたくらいですから少しは役に立てたと思うとそれは嬉
しい限りです。

最後になりましたが、人間とは十人十色。それぞれ感じ方、モノ
の見方は違うと思います。あなたはこの評論文を読んでどう感じま
したか? よろしければ「小説家になろう」サイトの「メッセージ」
にて感想をお待ちしております。文章の書き方やアドバイスをくだ
さった方々、ここまで読んでくださった方々全員に感謝の言葉を「
ありがとう」

それではまた他の小説でお会いしましょう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4681s/>

エゴイズム

2011年10月8日16時08分発行